

# 議会だより第49号

## 平成29年第4回定例会

平成29年第4回定例会が11月1日から17日までの17日間の会期で開催されました。

この定例会では、市長から提出された平成29年度いすみ市一般会計補正予算ほか12議案及び人権擁護委員候補者の推薦が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。

### 主な議決内容

○いすみ市固定資産評価審査委員会委員に渡邊敏男氏、河崎英俊氏、井上宗一郎氏を選任することに全会一致で同意しました。

○人権擁護委員候補者に栗山富久江氏を推薦することに全会一致で同意しました。

### 平成29年第4回定例会の議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度いすみ市一般会計補正予算(第4号))	承認
議案第2号	いすみ市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	可決
議案第3号	いすみ市介護保険条例の一部改正について	可決
議案第4号	いすみ市市営住宅管理条例の一部改正について	可決
議案第5号	平成29年度いすみ市一般会計補正予算(第5号)	可決
議案第6号	平成29年度いすみ市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第7号	平成29年度いすみ市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第8号	備品の取得について	可決
議案第9号	平成29年度いすみ市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第10号	財産の処分について	可決
議案第11号	いすみ市固定資産評価審査委員会委員の選任について(渡邊敏男氏)	同意
議案第12号	いすみ市固定資産評価審査委員会委員の選任について(河崎英俊氏)	同意
議案第13号	いすみ市固定資産評価審査委員会委員の選任について(井上宗一郎氏)	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(栗山富久江氏)	同意
発議第1号	議員の派遣について	可決



委 員 会

審 査

報 告

11月10日と13日に、各常任

委員会が開催され、委員会付託された議案を審査しました。

ここでは、議案第5号平成29年度いすみ市一般会計補正予算における主な質疑及び答弁について掲載いたします。

総務常任委員会

議案1件について審査を行いました。

問 防犯対策事業の備品購入費について、公用車にドライブレコーダーを設置することだが、前方向と後方向を録画する機種を導入するのかわきたい。

答 主に防犯カメラとして運用することを目的としていることから、前方向を録画する機種を考えていますが、導入にあたり後方向の録画機能を追加できるか検討します。

文教厚生常任委員会

議案3件について審査を行いました。

問 児童就学援助事業に係る扶助費について、準要保護児童援助費の新入学児童生徒学用品費の対象人数及び援助内容を伺いたい。

答 対象人数の見込みは小学生15人、中学生15人です。また、援助内容は入学準備に対する援助費で、小学生が1人当たり4万6000円、中学生が1人当たり4万7400円です。

産業建設常任委員会

議案4件について審査を行いました。

問 地方創生交付金関連事業費の美食ツアー事業について、事業の概要はどのようなものか伺いたい。

答 10km程度のウォーキングコースに6カ所程度の休憩ポイントを設け、いすみブランド産品等地元食材を使った料理を食していたりなど歩きながら地域の食と自然、文化を巡るツアーを組み、市の魅力をPRしようとするものです。

新議員紹介

平成29年11月26日執行のいすみ市議会議員補欠選挙(定員1)で当選した魚地展弘議員は、議長の指名により11月27日付で産業建設常任委員会委員に選任されました。

Q&A 一般質問 市政をきく

第4回定例会の一般質問は、11月6日に7名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

(第4回定例会の会議録は3月上旬に公開を予定しています。)

岩井豊重 議員	国民健康保険の広域化／平成30年度予算編成／いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略
高森和久 議員	市立図書館整備に向けた基金の設置／平成30年度いすみ市一般会計当初予算編成方針／平成30年度からの国民健康保険制度
横山正樹 議員	漁業問題／観光振興
山口朋子 議員	英語教育の充実／学習支援事業／介護支援
荒井 正 議員	ふるさと納税／防災対策／福祉の充実／国保制度の変更
久我 司 議員	観光施策／危機管理体制／消防団支援策
田井秀明 議員	不活化ポリオワクチンの追加接種／市内建設業者の経営維持のための予算確保／外房線の輸送力強化



### 国民健康保険の広域化 岩井豊重議員

**答**  
今回の試算結果を踏まえると保険税は下がるものと考えている

岩井議員 広域化に伴う国民健康保険税の見直しについて伺いたい。

上島副市長 国は制度改正による急激な保険料の上昇が生じないよう新たに毎年1700億円の公費投入を表明しており、県にも対策の検討を強く要請しています。これにより、県では本年9月8日に国からの財政支援も踏まえた年間標準保険料の第3回試算を公表しています。試算結果は、平成29年度予算ベースで県内1人当たり10万3955円となり、平成27年度と比較して被保険者数の減があり1%の減少となりました。市町村別では激変緩和措置を全面実施した場合、都市部を中心に30市町で増加となる一方、24市町村は減少する結果になりました。この中で、いすみ市は減少する市町村になっており、対平成27年度比1万4340円の減となっています。いすみ市における平成30年度の保険税については、今後、県が国支援の確定などを待ち、来年1月に最終的に納付金とともに示す標準保険料を参考に税率を見

直すことになりませんが、今回の試算結果を踏まえると保険税は下がるものと考えています。

市では、今後も県の動向を注視しながら広域化の趣旨を踏まえ、国保加入者にとつて負担増にならないよう留意し、平成30年度予算編成に臨みたいと思います。

### 市立図書館整備に向けた基金の設置 高森和久議員

**答**  
公共施設等整備基金の中で市立図書館の整備についても充てていく方向で検討する

高森議員 市立図書館の整備に向けた基金を設置する考えはないか伺いたい。

教育長 図書館の設置については、これまでの議会答弁において、「施設の管理や運営などの経費を考慮すると新たに図書館としての建物を建設することは難しい。また、市が管理する建物の利便性や耐久性などを精査した上で、既存の施設を利用した図書館の設置をご提案したい。」と申し上げました。既存公共施設の管理については、本年3月に策定した「いすみ市公共施設等総合管理計画」で定めた基本方針等に基づき、公共施設等の長寿命化や統廃合など、個別施設ごとの保全や再編方針を定める公共施設等個別施設計画を本年度から策定し、計画内容の具現化に取り組んでいくところであります。既存の施設を利用した図書館の設置についても、同計画を策定する中で判断していきたいと考えています。このようなことを踏まえ、基金につきましては、3月補正の予算編成の状況で対応したいと考えています。新たに創設せず、公共施設等整備基金の中で市立図書館の整備についても充てていく方向で検討していきます。

施設ごとの保全や再編方針を定める公共施設等個別施設計画を本年度から策定し、計画内容の具現化に取り組んでいくところであります。

既存の施設を利用した図書館の設置についても、同計画を策定する中で判断していきたいと考えています。

基金につきましては、3月補正の予算編成の状況で対応したいと考えています。新たに創設せず、公共施設等整備基金の中で市立図書館の整備についても充てていく方向で検討していきます。

### 漁業問題 横山正樹議員

**答**  
夷隅東部漁協及び県とも協議していきたい

横山議員 漁業を担う人材を確保する方法などについて、夷隅東部漁業協同組合と協議はされているか伺いたい。

水産商工課長 現在、漁業を取り巻く環境は漁業者の高齢化、後継者不足、外国船の漁獲による漁獲量の減少など全国的に厳しい状況が続いています。しかしながら、当漁協の将来の漁業を担う漁協青年部員数は30名を超え、県内の漁協においても部員数は圧倒的に多く、マダイの中間育成、ヒラメの稚魚放流などの資源管理・漁業の推進、漁業教室への協力など積極

的な活動をしています。平成27年度に千葉県地域水産業再生委員会夷隅地区部会において、5年間の具体的な取り組みを実行するための総合的な計画、「浜の活力再生プラン」が策定され、このプランの基本方針として、新規漁業従事者の確保と未来の漁師の育成を掲げ、夷隅東部漁協と市県が連携して国の新規就業対策制度を活用し、漁業経営を承継する後継者や就業希望者を支援し、新規漁業従事者の確保に取り組んでいます。

現在、小型船、遊漁船を含め6名以上の新規漁業従事者が従事していますが、市では稚魚の育成、放流等資源管理型漁業の推進及び未利用魚の商品化、ブランド化による販路の拡大を図り、漁業所得の向上、安定した魅力ある漁業の推進に努め、引き続き漁業従事者の確保に向けた取り組みについて、夷隅東部漁協及び県とも協議していきたいと考えています。

このようなことから、ALITの役割はますます増加し、時間的な余裕が少なくなり、また、保育所派遣のために増員することも難しいものと考えます。

今後の英語教育を考えますと、小学校入学前より英語に触れ、興味を持たせることは、大変大切なことだと思いますので、公民館で行っている子どもたちを対象とした英語に関する事業に参加をしてみようことや、事業の充実、そのほか英語ボランティアを募り、遊びの中で英語に触れる機会をつくっていくなどの方策を検討していきたいと考えています。

山口議員 子どもたちに英語への興味を深めてもらうために、外国語指導助手を市内各保育所に派遣してはどうか。

学校教育課長 外国語指導助手ALITについては今年度4名体制で、中学校の英語授業及び小学5・6年生の外国語活動の補助を行っています。新学習指導要領では平成32年度より、現在の小学5・6年生が実施している外国語活動は英語の教科となり、新たに小学3・4年生が外国語活動を実施することになります。

平成32年度までの2年間は準備期間ですが、小学校では来年度より先行実施として、外国語教育の授業時間を増加させることが決定しています。

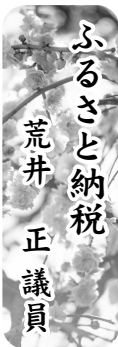
このようなことから、ALITの役割はますます増加し、時間的な余裕が少なくなり、また、保育所派遣のために増員することも難しいものと考えます。

今後の英語教育を考えますと、小学校入学前より英語に触れ、興味を持たせることは、大変大切なことだと思いますので、公民館で行っている子どもたちを対象とした英語に関する事業に参加をしてみようことや、事業の充実、そのほか英語ボランティアを募り、遊びの中で英語に触れる機会をつくっていくなどの方策を検討していきたいと考えています。

今後の英語教育を考えますと、小学校入学前より英語に触れ、興味を持たせることは、大変大切なことだと思いますので、公民館で行っている子どもたちを対象とした英語に関する事業に参加をしてみようことや、事業の充実、そのほか英語ボランティアを募り、遊びの中で英語に触れる機会をつくっていくなどの方策を検討していきたいと考えています。

### 英語教育の充実 山口朋子議員

**答**  
外国語指導助手の役割はますます増加し、時間的な余裕が少なくなる。また、保育所派遣のために増員することも難しいものと考えている



ふるさと納税 荒井 正議員

**答** ふるさと納税の趣旨を踏まえた適正な対応としている

荒井議員 税の公平性を欠いていると思うが、制度の問題点についてどのように認識しているか伺いたい。企画政策課長 ふるさと納税とは、例えば現在は住んでいない自分の出身地や応援したい自治体に対して寄付を行う一方、原則として寄附金額から2千円を除いた額が、現在住んでいる自治体への住民税等からの控除の対象となる制度で、実質的に納税者が自分の意思で納税先を選べる制度とされています。

また、多くの自治体で寄附に対して特産品等の返礼が行われており、いすみ市においても寄附に対する感謝の気持ちとして、また、いすみ市の魅力発信や、地域経済の活性化という観点から、いすみ米や梨、チーズや釣り船乗船券といったいすみ市の特産品等を返礼品として送付しています。これらの返礼品の送付については、平成29年4月1日付け総務大臣通知によると、ふるさと納税という税制上の措置とは別に、各地方団体が独自の取り組みとして行っているものという位置

づけになっていきます。この返礼品の送付については、一部の地方団体において、ふるさと納税の趣旨に反するような返礼品が送付されているとの指摘もなされていますが、いすみ市では、ふるさと納税の趣旨を踏まえた適正な対応としています。

ふるさと納税制度については、今後も国において継続していく制度であると考えられますので、いすみ市としても、ふるさと納税制度を最大限活用し、いすみ市を応援してくださる方を増やすとともに、いすみ市の魅力発信、地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。



観光施策 久我 司議員

**答** インバウンド受入れ環境整備の施策を進めている。また、台湾から高校生を教育旅行として受け入れる予定となっている

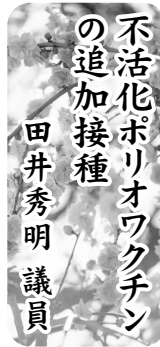
久我議員 平成27年12月議会において、インバウンド観光に対する環境整備について質問したが、進捗状況はどうなっているか。また、台湾からの観光客誘致を提案したが、現在市はどのように考えているか伺いたい。オリンピック・観光課長 2020年に東京オリンピックが開催されることやアニ

メ映画の大ヒットなどで、今後多くの外国人観光客が日本を訪れることが見込まれていますが、いすみ市もこの機を逃すことなく、現在インバウンド受入れ環境整備の施策を進めています。具体的には、英語、韓国語、簡体字、繁体字など4言語対応のいすみ市観光ガイドマップを作成し、千葉県観光物産センターや神奈川県観光協会、そしていすみ市観光センターなど市内観光施設に配置しています。

また、市内WiFi整備については、いすみ市公共無線LAN整備協議会を設立し、平成28年度においては、公共施設、観光施設など21カ所に整備し、平成29年度は市内宿泊施設3カ所に整備することになっており、今後も市内観光スポットなどに整備していききたいと考えています。

そのほかにも観光情報等いすみ市の魅力をトリップアドバイザーやジャパントゥデイなど外国人向けサイトにアップしたり、観光庁が発行している多言語に対応した全国口ケーションマップに人気ドラマの撮影場所となった市内の飲食店が掲載されるなど効果的な情報発信を行っています。また、台湾からの観光客誘致につきましては、市内ホストファミリーや文化団体の方々にホームステイ、文化体験の協力をいただき、台湾から高校生を教育旅行

として受け入れる予定となっています。今後も、多くの外国人にいすみ市の魅力を理解していただくため、認定外国人案内所整備やピクトグラム設置など、インバウンド受入体制の整備を継続的に図ってまいります。



不活化ポリオワクチンの追加接種 田井秀明議員

**答** ワクチンによる予防を徹底することが重要であると認識している

田井議員 被接種者の抗体保有率の経年低下による感染が懸念されていることから、不活化ポリオワクチンの5回目接種についてどのようない認識を持っているか伺いたい。

健康高齢者支援課長 ポリオは2000年に世界保健機構により、日本を含む西太平洋地域の根絶宣言がなされましたが、中近東やアフリカでは、野生株や生ワクチン由来株による発症がある状況の中、海外からの入国や渡航も多く、国内での集団発生の危険性が指摘されています。現在、不活化ポリオワクチンを含んだ4種混合ワクチンとして、乳幼児期に4回の接種を行っています。徐々に感染防御に必要な抗

体価が低下すると言われており、5回目の追加接種を実施することで、長期にわたり高い抗体価が得られることが明らかになっています。このような状況の中、いすみ市の子共たちを感染症から守るためには、ワクチンによる予防を徹底することが重要であると認識しています。

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会は誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。傍聴の際は市役所大原庁舎4階議事事務局で受付をお願いします。なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

**第1回定例会日程(予定)**  
2月27日(火)10時 開会  
議案の上程  
3月1日(木)10時 一般質問  
6日(火)10時 議案質疑  
7日(水)9時 委員会  
8日(木)9時 委員会  
16日(金)10時 委員長報告  
議案審議  
閉会

編集 議会だより編集委員会  
TEL 0470-6211406  
ホームページアドレス  
http://www.city.isumi.lg.jp/  
メールアドレス  
gikai@city.isumi.lg.jp

